3/12

會社側遂に 開場を發表
十五日から開場すると 昨日四千の職工に通告

持久戰中の燐寸爭議は双方態度を頑强にて解決前途分至難なるを思はしめたるが昨日正午會社は突然四千の全職工に對して十三日より開場する旨を發表し通知状を發送するに至りたり

十三日開場通知

今回不幸にして休業の已むなきに至りましたのは甚だ殘念であります……

就業するや否やは未明なるも會社側にては約二千就業するに至るべしと觀測しつゝあるが万一同等の通知も無く無斷欠勤三日以上に及ぶ時は斷然解雇する由なるが職工側は之に對し午後一時より閉場通知状の件に付きて幹部會を開き協議する處あり又本日中に演說會を開催すべく計畫し……

大正十一年三月十一日 燐寸製造株式會社

一万余の燐寸職工 結束して罷業
會社側の態度强硬 國母陛下の行啓に十三日迄遠慮した後 演説會を開いて氣勢を揚げるに決定

一齊に

然るに

其他の

各工場

演說會

時の利を得たもので無い
何時迄も盟休を續けられぬ 斷然たる處置と米洋燐寸の曰く

何處迄も主張貫徹
結束は堅いと職工側の曰く

徹底的に燐寸罷業
委員會合して作戰協議
結束堅く演說會場は湊川勸業館 女工が應援に事務所へ押寄せる

更に惡化
大罷業後の手段か

(十三日、大阪發)